

## 当社の生成AIに関する取り組みが、 Amazon Web Services (AWS) 公式サイトに掲載されました

当社は、中期経営計画「2023～2027年度中期経営計画」において、人的資本経営の強化の一環としてICT関連技術の導入を推進しています。生成AIの活用もその取り組みの一つとして、[ワンダーソフト株式会社](#)の協力のもと、「大豊AI」を構築し、2025年6月に全社員へ展開しました。

この取り組みが評価され、このたびAmazon Web Servicesの公式サイト事例集に掲載されました。事例の詳細は、以下よりご覧いただけます：

### [大豊建設がAWSで実現した大豊AI：業務の様々な場面で活躍する生成AI活用事例](#)

#### 全社定着に向けた取り組み

全社員が生成AIを使いこなせる環境づくりにも取り組んでいます。展開後の社内調査では、生成AIへの質問がキーワード検索にとどまるケースや、「業務での活用方法が分からない」といった声も寄せられました。こうした課題を受け、ワンダーソフト株式会社の協力のもと、生成AI勉強会を実施しました。2025年10月から2026年4月にかけて全14回開催し、延べ400人が参加しました。



#### 生成AI勉強会の主な講義内容

- 生成AIの基礎と期待値：生成AIを活用する上での注意事項とAIに対する正しい期待値
- 効果的なプロンプト作成：生成AIへの適切な質問の仕方
- 主要機能：社内資料検索・Deep Research・議事録作成など業務全般での活用方法



#### 今後の展開

生成AIの進化は急速であり、これまで活用が難しかった社内データの利用も可能になってきました。大豊AIを通じて現場に蓄積された知見を組織全体の資産へと変えるとともに、全社員が正しくAIを活用できる環境を整え、組織全体のデジタルリテラシー向上を図ってまいります。